一般質問

Q　農業生産法人支援事業について

前崎議員

一、今年度を目標年とした「小平町人口ビジョン・総合戦略」に「まちの地域資源を活かした特産品づくりと産業の創設」の事業として「農業生産法人支援事業」が掲載されています。

本事業の成果と次期計画について伺います。

A　必要な支援を進めていく

町長　関　次雄

一、農業生産法人を設立するための指導、アドバイス等、ソフト面は農業委員会、ＪＡ、町で支援し、設立された法人が生産とともに６次産業化に取り組むのであれば、その設備等は町の特産品振興支援事業補助金の対象になると考えます。

この補助金については、漁業でも商業でも個人経営であっても利用いただいております。

また、業を営む中での課題についても相談いただけましたら、例えば制度のことや雇用者、外国人雇用の関係につきましても、町でわかることは町で、わからないことは道、国に伺い、お手伝いできるかと思います。

農業に限らず６次産業化による所得の向上、雇用の創出、地域の活性化などのメリットについて引き続き情報を発信し必要な支援を進めていきたいと考えております。

Q　一、ゆったりかんの経営の健全化について
二、公共施設の建設計画について

板垣議員

一、「ゆったりかん」経営運営等について常任委員会で調査研究を行い、報告書を町へ提出したが、緊急項目で損失補填清算交付金２千670万円を今定例会に補正予算として計上したが、健全な経営の方向性について、町民への説明責任を含め、明確に示すことが必要であり、考えを伺う。

二、「(仮称)鬼鹿地区行政センター」の建設計画について、事業実施に向け庁舎内での意見交換や町民からの意見など、どのような経過で取り進めてきたのか。また、今後、建設計画をどのように取り進めるのか伺う。

A　一、経営改善、運営方法等の調査し、今後協議を進める
二、新年度に建設事業を開始する

町長　関　次雄

一、ゆったりかんの経営状況は、非常に厳しい状況が続いており、㈱おびらへの支援や赤字補填については、町が責任をもって行わなければならないと考えている。また、健全な運営の方向性については、施設の改修改善、運営方法、経営改善について調査を行い議会の意見を伺いながら、協議を進める。

二、11月に所属長会議で計画の概要説明を行い、12月に鬼鹿地区町内会長へ説明・周知を予定している。この計画については、長年地域からの要望と地域の空洞化、防災の観点からも早期に建設事業を取り進めたい。新年度４月に事業開始、令和３年８月の完成を目指したい。

副町長　鈴木敏和

二、建設事業のスケジュールは、４月に地質調査、支所の移転、５月から８月まで実施設計と既存建物解体、10月着工し、完成は令和３年８月を予定している。